

平成26年 年末訓示

平成26年の仕事納めにあたり、一言申し上げたいと思います。
この一年間、職員の皆さん、大変ご苦労様でございました。

改めて、この1年を振り返ってみますと、全国的には、大きな自然災害が多かったのかなと思います。8月の広島市で発生した土砂災害や9月の御嶽山の噴火では、多くの方々が犠牲となりました。自然の脅威をまざまざと見せつけられた出来事でした。幸いにして、本村では、大きな災害はありませんでしたが、今後とも、自然災害への警戒は一層強くしていかなければならないと感じております。

役場の仕事としましては、震災からの復旧・復興も順調に進めることができたのではないかと感じています。特に、「東海中学校」は、12月13日に竣工を迎えることが出来ました。震災から足掛け4年をかけて、やっと子供達に安心して学習できる環境を整えることが出来、関係職員の努力を労いたいと思います。また、村で初めての幼保連携施設である「とうかい村松宿こども園」も、12月20日に竣工を迎えました。こちらは、幼稚園と保育所という従来の壁を乗り越えて、教育委員会と福祉部が連携して取り組んできた成果でもあります。今後は、運営面での課題も多いところではありますが、引き続き、東海村における子育て支援のモデルとなるような取り組みに期待しております。

また、役場敷地内には、土地貸しによるメガソーラー施設も完成し、再生可能エネルギーの利用促進も図られました。原子力災害対応では、自治体に課せられた避難計画づくりにも着手し、住民説明会なども通して、着実に本村の計画策定が進められております。まだ、基本的な考え方を整理している段階でありますので、今後とも実効性を確保していくため、さらなる検討を進めていかなければなりません。

さらに、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金といった臨時的な支給事務につきましても、滞りなく対応することができました。来年は、いよいよマイナンバー制度が導入されます。国の動きを注視しながら、適切な住民サービスが提供できるよう対応していく必要があります。

一方、区画整理事業は、目に見える成果が上がった年ではなかったかと思います。懸案事項が一つひとつクリアされ、着実に終結に近づいております。これは、交渉事ですので、これまでの関係職員の皆さんの努力があり、今年の担当職員がまとめあげたものと感じています。行政が、組織として継続して取り組んできた成果であり、更なる努力を期待しております。

加えて、情報発信については、かなり積極的に展開できたのではないかと思います。ホームページのリニューアルやSNSの活用を通して、役場が今何をやっているのかということは、伝えることが出来ました。今後は、広聴機能も強化しながら、村民の皆様との情報共有にも努め、戦略的な情報政策を推進していきたいと考えております。

私は、年度当初に、村長ミッションということで、いろいろな課題を各課に投げ掛けさせて頂きました。さらには、全事業の評価見直し作業にも取り組んでもらい、来年度の実施計画へと繋げることが出来ました。通常業務に加えての対応であり、部署によっては、負担も大きかったと思います。一つひとつお話することは出来ませんが、全ての職員の方々が、それぞれの職場でしっかりと仕事をしていただいたと感じております。

私の周りの方々からは、役場の雰囲気が変わったという話も耳に入ってきています。本当に嬉しく思っております。

来年は、「地方創生」がキーワードとなりそうです。本村の特性を踏まえながら、「地方人口ビジョン」や「地方版総合戦略」の策定にも取り掛かなければなりません。この話については、年が明けてから申し上げたいと思いますが、役場の仕事の区切りは、やはり年度でございますので、年末年始でリフレッシュしていただき、年明け以降の最後の仕上げに取り組んでもらいたいと思います。もちろん、年末年始も業務によっては対応いただくところもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の年末年始も昨年に続き、9連休となりますが、緊急的な事態への対応や連絡網などを今一度確認して、休暇に入っていただきたいと考えております。年末年始の休暇は、皆さん自身が、今年一年の疲れをとっていただくことが大事であります。家族との団欒も是非大切に、有意義に使っていただければと思います。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明け5日には、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

以上を持ちまして、年末の訓示といたします。

皆さん、良い年をお迎えください。

平成26年12月26日 東海村長 山田 修